

(① 日本の“こころの創生”を牽引する「世界の文化首都・京都」の実現)

[単位：千円]

① 日本の“こころの創生”を牽引する「世界の文化首都・京都」の実現

31項目 2,133,400

<行財政局>

1 芸術大学移転整備事業 229,300

「京都市立芸術大学移転整備基本構想」及び28年度中に策定予定の「京都市立芸術大学移転整備基本計画」を踏まえ、世界に冠たる芸術大学としての更なる飛躍と、京都駅東部における文化・芸術の新たなシンボルゾーン創生に向け、芸術大学の新キャンパスの設計業務等に着手する。

全体事業費 237百万円（政策枠229百万円，政策枠以外8百万円）

[行財政局 総務課 TEL 222-3045]

<環境政策局>

2 京都議定書誕生20周年記念 地球環境京都会議（KYOTO+20）（仮称）の開催 37,000

29年は、地球温暖化対策に関する人類史上初の国際的な約束である「京都議定書」が誕生して20周年の節目を迎え、京都議定書が大きく飛躍した「パリ協定」の実現に向けて歩みを進めるべき年であり、その節目を記念して、パリ市や国連の公式協議機関イクレイ等と連携し、地球環境京都会議（KYOTO+20）（仮称）を開催する。

会議では、「京都議定書」の意義や、議定書誕生以降、都市をはじめ世界が取り組んできた地球温暖化対策の成果と課題、また、対策の更なる推進に向けた決意などを共有するとともに、国際的な都市間連携の強化による地球規模での温暖化対策の深化を促進し、人類が共有すべき理念と決意を表明する「京都宣言」（仮称）を発信する。

更に、NPOや民間事業者等と連携した市民シンポジウムや子どもたちの国際交流なども関連事業として実施する。

[環境政策局 地球温暖化対策室 TEL 222-4555]

(① 日本の“こころの創生”を牽引する「世界の文化首都・京都」の実現)

[単位：千円]

3 食品ロス削減等推進事業 8,000

32年度までに、ごみ量をピーク時の半分以下(39万トン)とするため、その約4割を占める生ごみ、とりわけ手付かず食品や食べ残しといった「食品ロス」の削減に重点的に取り組む。

◆フードバンク活動等支援 2,000

食品ロス削減を推進するため、フードバンク活動(※)の認知度を高め、フードバンク団体と食品関連事業者や市民・社会福祉事業者との協働関係が構築できるよう、フードバンク活動のほか、民間団体等が行う食品ロス削減に関する取組を支援する。

※ 包装の印字ミスや賞味期限間近等により販売がされない加工食品や規格外の農産物等の寄付を受けて、福祉施設等に無償で提供する活動

◆商慣習の見直しに関する調査・社会実験 3,000

小売店などが設定する店頭での販売期限は、商慣習として、製造日から賞味期限までの期間を3分の1残した状態で設定される場合が多く、販売期限を過ぎた食品の多くは賞味期限に達する前に廃棄され、食品ロス発生の一つの要因とされている。この食品の販売期限について、小売事業者と消費者の相互理解により、賞味期限内で延ばすことによる食品廃棄の抑制可能性や、販売期限延長による影響等を調査する。

◆しまつのこころ楽考(がっこう) 3,000

市民の食品ロス削減等に関する理解を深め、ごみの減量に繋げていくため、楽しみながら考え、学んでいただく地域学習会、「しまつのこころ楽考(がっこう)」を開催する。

全体事業費 18百万円(政策枠8百万円、局配分枠10百万円)

[環境政策局 ごみ減量推進課 TEL 213-4930]

4 小型家電リサイクル資源の活用 ～みんなで集めよう！都市鉱山から金メダル～ 1,000

本市が回収した携帯電話などの小型家電、いわゆる「都市鉱山」から回収した金を100%使った京都マラソンの優勝メダルを作成することにより、資源活用が見える化を図り、市民のより一層の分別・リサイクル意識の向上につなげる。

[環境政策局 ごみ減量推進課 TEL 213-4930]

(① 日本の“こころの創生”を牽引する「世界の文化首都・京都」の実現)

[単位：千円]

【局配分枠等における主な新規・充実事業(環境政策局)】

[充実事業]

◇生ごみ減量推進事業（保育所等の生ごみ・落ち葉処理機購入助成の拡充）

全体事業費 27,500（うち充実分7,000）

<総合企画局>

5 文化庁の京都移転の推進 8,000

文化庁の全面的な移転の着実な推進と文化の力による全国の地方創生を目指し、京都府・経済界とも連携して、文化庁の先行移転となる地域文化創生本部（仮称）の設置を記念した式典やシンポジウムの実施などにより新たな文化行政の推進を広く全国に発信する。

[総合企画局 文化庁移転推進室 TEL 222-4200]

6 国立京都国際会館の多目的ホールにおける「京都らしい設え」の実施 60,000

日本文化の発信と本市の伝統産業の振興を図ることを目的として、国が整備する国立京都国際会館の多目的ホール（30年6月しゅん工予定）に、公益財団法人国立京都国際会館と連携して京都ならではの付加価値を加える「京都らしい設え」を施すため、28年度の検討結果を踏まえ、京都の伝統産業、伝統工芸等をいかした調度・備品の制作等を行う。

[総合企画局 総合政策室 TEL 222-3033]

7 文化庁移転を契機とした「京都学生祭典 文化創造・発信プロジェクト」 1,000

文化庁の京都への全面的移転の決定を契機として、学生による新たな文化の創造や発信を加速させ、文化の力でまち・ひとを元気にし、より幅広い市民に実感していただくため、29年度に第15回を迎える「京都学生祭典」のプレイベントとして、本市の文化施策や新規事業との連携の下に京都市内中心部（京都駅ビル等）で実施される、文化を創造・発信するイベントを支援する。

[総合企画局 総合政策室 TEL 222-3103]

(① 日本の“こころの創生”を牽引する「世界の文化首都・京都」の実現)

[単位：千円]

8 文化庁移転を契機とした「学まちコラボ事業」への文化枠の新設 1,000

文化庁の京都への全面的移転の決定を契機として、文化的な取組の担い手として重要な役割を果たしている学生との協働により文化の力でまち・ひとを元気にし、学生をはじめ、市民に実感していただくため、大学・学生と地域住民との協働による取組を支援する「学まちコラボ事業」に文化枠を新設し、文化の観点を取り入れた取組を促進する。

[総合企画局 総合政策室 TEL 222-3103]

9 朝鮮通信使ゆかりのまち全国交流会2017京都大会の開催 7,500

日韓の交流促進と相互理解を深めるため、「東アジア文化都市2017京都」のパートナーシップ事業として、「朝鮮通信使ゆかりのまち全国交流会」を京都市で開催し、朝鮮通信使再現行列や文化交流行事などを実施する。

[総合企画局 国際化推進室 TEL 222-3072]

10 友好都市青少年会議の開催 6,000

友好都市交流及び青少年の国際理解教育を促進するため、文化庁の京都への全面的な移転の決定及び京都議定書のパリ協定への発展を踏まえ、友好都市出身の留学生と市内の青少年による会議を開催し、環境にやさしい生活文化をはじめ文化をテーマに意見交換を行うとともに、日本の伝統芸能を体験する機会を提供する。

[総合企画局 国際化推進室 TEL 222-3072]

<文化市民局>

11 京都文化カプロジェクト2016-2020の実施 25,000

東京オリンピック・パラリンピック等の開催を契機として、世界に向けて京都の文化芸術を発信し、体感していただく文化の祭典を市・府・京都商工会議所のオール京都で実施する。

29年度は、28年10月に策定した実施計画に基づき、舞台芸術のリーディング事業やフォーラムなどを実施する。

[文化市民局 文化芸術企画課 TEL 366-0033]

(① 日本の“こころの創生”を牽引する「世界の文化首都・京都」の実現)

[単位：千円]

12 大政奉還150周年記念プロジェクトの実施 34,000

大政奉還150周年を契機として、京都市をはじめ幕末維新に京都で活躍した先人たちと縁を持つ全国21都市が相互に交流・連携を図りながら、記念事業を実施することにより、文化・観光等の振興や、大政奉還の舞台となった二条城をはじめとする文化財の保存継承・活用にもつなげていく。

[文化市民局 文化芸術企画課 TEL 366-0033]

13 東アジア文化都市2017京都の実施 338,000

日中韓の文化大臣会合の合意に基づき、各国から選定された中国・長沙市、韓国・大邱広域市とともに1年間を通じた多彩な文化交流事業を展開することにより、東アジアの相互理解の促進、国際感覚豊かな文化芸術の担い手の育成、観光・産業・地域の活性化につなげていく。

29年度は、28年10月に策定した事業計画に基づき、伝統的な文化芸術をはじめ、現代美術、舞台芸術、音楽、マンガ・アニメなど幅広い京都の文化芸術を活かしたイベントや交流事業を実施する。また、これまでの日中韓の開催都市等の首長が一堂に会する東アジア文化都市サミットを初めて開催する。

[文化市民局 文化芸術企画課 TEL 366-0033]

14 芸術家×職業マッチング事業 3,500

若手芸術家の支援策として、これまでからHAPS（東山 アーティスツ・プレイスメント・サービス）を組織し、若手芸術家からの相談対応、空き家の紹介や制作スタジオの提供等、居住・制作・発表の場づくりに取り組んでいる。

29年度は更に、大学卒業後の若手芸術家が京都にとどまって活躍するために、芸術関連の職業についての情報を収集し、それを芸術家等に紹介する事業を実施する。あわせて、若手芸術家の新たな制作活動環境の整備のための調査を実施し、その活動を地域のまちづくりに活かしていく。

[文化市民局 文化芸術企画課 TEL 366-0033]

(① 日本の“こころの創生”を牽引する「世界の文化首都・京都」の実現)

[単位：千円]

15 文化芸術で人が輝く社会づくりのモデル事業 **5,000**

文化芸術の力により、社会的困難を抱えた方も含めた様々な人々の社会参加を促進するため、子育て支援施設や高齢者福祉施設などに芸術家を派遣するモデル事業を実施する。また、モデル事業の実施結果を検証するとともに、各対象施設の特性や、それに合わせたよりよい実施手法を調査し、今後の本格的な事業展開につなげていく。

[文化市民局 文化芸術企画課 TEL 366-0033]

16 文化庁のサテライトとしての機能に関する企画・調査 **5,000**

京都に存在する様々な文化芸術資源を活用し、京都府・経済界との連携を図りながら、京都のまち全体が「新・文化庁」のサテライトとしての機能を果たすための企画・調査を行う。

[文化市民局 文化芸術企画課 TEL 366-0033]

17 文化芸術創造拠点・京都プロジェクト **100,000**

文化庁で29年度に新設される助成事業「文化芸術創造活用プラットフォーム形成事業」を活用し、芸術団体・芸術家等と産学官の連携により、文化芸術創造拠点・京都の持続的な発展を目指す。

本プロジェクトでは現代アート・実演芸術の分野を中心に、文化芸術の担い手・支え手等の育成、文化芸術の国内外とのネットワーク構築を行いながら、伝統から現代までの総合的な文化事業を展開する。

[文化市民局 文化芸術企画課 TEL 366-0033]

18 文化財説明板の多言語化事業 **5,600**

既存の文化財説明板について、外国語情報を搭載した専用コード（スマートフォンをかざすことにより自動で音声を読み上げるコード）の貼付により多言語化（英・中・韓）を図る。

年次計画 29～32年度で240基を実施

[文化市民局 文化財保護課 TEL 366-1498]

(① 日本の“こころの創生”を牽引する「世界の文化首都・京都」の実現)

[単位：千円]

19 京都市美術館再整備事業 **741,000**

80年以上にわたり京都の文化芸術を牽引してきた京都市美術館について、近代建築として高い評価を得ている本館を保存・継承しつつ、様々な展示に対応できる新たな展示室と収蔵庫を備えた新館を建設する。これにより、美術館機能の強化を図るとともに、アメニティ機能の充実、バリアフリー化等、現代のニーズに応える美術館を目指して再整備を実施する。

29年度は、実施設計・施工、埋蔵文化財発掘調査等を行う。

[文化市民局 美術館 TEL 771-4107]

20 生き物・学び・研究センターパワーアップ事業 **16,200**

動物園生き物・学び・研究センターの体制を強化し、国の科学研究費補助金による希少動物の研究を推進することにより、市民に先進的な学びの場を提供するとともに、海外からの希少動物の導入についても積極的に取り組む。

[文化市民局 動物園 TEL 771-0210]

21 二条城の価値・魅力発信事業 **66,100**

二条城の保存・活用を推進し、その価値を将来にわたり受け継いでいくため、有識者からなる「二条城の価値を活かし未来を創造する会」からの提案を踏まえた取組を実施する。

- ◆早朝観光の充実
- ◆東南隅櫓などの未公開文化財整備活用事業
- ◆東大手門特別公開事業
- ◆外堀景観向上事業
- ◆石垣の価値を保存するための調査

[文化市民局 元離宮二条城事務所 TEL 841-0096]

(① 日本の“こころの創生”を牽引する「世界の文化首都・京都」の実現)

[単位：千円]

22 ラグビーワールドカップ2019プール組分け抽選会等京都開催 10,000

ラグビーワールドカップ2019日本大会のプール組分け抽選会は、本大会の決勝トーナメントに進むためのリーグ戦を行うプールの組分けを行うイベントであり、世界各国に生中継され、多数のメディアが取り上げる極めて注目度の高いイベントである。

この抽選会とレセプションを京都市内で開催することにより、抽選会に参加する各国のラグビー関係者に京都の魅力を感じていただくとともに、世界中に京都の魅力を発信する大きな機会とする。

[文化市民局 市民スポーツ振興室 TEL 366-0168]

【局配分枠等における主な新規・充実事業(文化市民局)】

[新規事業]

◇第65回動物園技術者研究会	4,980
◇駅伝発祥100年記念事業支援	500

(① 日本の“こころの創生”を牽引する「世界の文化首都・京都」の実現)

[単位：千円]

<産業観光局・文化市民局>

23 京都遺産・伝統文化・匠の技体験型ツアー拡充事業 22,600

京都遺産、伝統文化、伝統産業の工房訪問などの京都コンテンツを活かした文化観光メニューの開発等により、京都の奥深い魅力を発信する。

◆京都の伝統文化、匠の技体験ツアーの開発・販売支援 12,000

京都遺産、伝統文化、伝統産業の工房訪問などの京都コンテンツを活かした文化観光メニューの開発・販売を支援する。

◆京都市認定通訳ガイド制度の充実 6,100

京都の魅力をより深く伝えることができるよう、専門研修の科目数を2科目から4科目に増やし、ガイドの育成強化を図る。

◆京都遺産の魅力探訪事業 4,500

「まち・ひと・こころが織り成す京都遺産」の価値や魅力をデジタルスタンプラリー等により市民や観光客にわかりやすく伝えるとともに、文化遺産の所有者や地域等と連携し、観光・伝統産業の振興や文化遺産の維持・継承・活用を進める。

[産業観光局 観光MICE推進室 TEL 746-2255]

[文化市民局 文化財保護課 TEL 366-1498]

<都市計画局>

24 京町家保全・活用推進事業 25,000

歴史都市・京都の歴史・文化・町並みの象徴である京町家を次世代に引き継ぐための条例の制定に向けた取組を進めるとともに、同条例の周知や、京町家の保全・活用を効果的に進めるための計画の検討等を行う。また、京町家所有者と活用希望者のマッチング制度を構築する。

全体事業費 29百万円（政策枠25百万円，政策枠以外4百万円）

[都市計画局 まち再生・創造推進室 TEL 222-3503]

25 新築住宅の省エネルギー化推進事業 5,000

新築住宅の省エネ化を推進するため、省エネに対する意識や施工技術の向上を図るセミナー等の取組を実施する。また、京都の自然や気候に応じ、暮らし・和の文化を生かした省エネ住宅の表示・公表制度を創設する。

[都市計画局 住宅政策課 TEL 222-3666]

(① 日本の“こころの創生”を牽引する「世界の文化首都・京都」の実現)

[単位：千円]

26 インバウンド対応型鉄軌道車両整備事業 19,000

訪日外国人旅行者等の観光需要に対応した公共交通を実現するため、鉄軌道事業者が実施する多言語表記等の車両整備に対して、国、京都府と協調補助を行う。

[都市計画局 歩くまち京都推進室 TEL 222-3483]

<都市計画局・建設局>

27 「歩くまち・京都」総合交通戦略の推進 286,900

◆安心・安全な東大路歩行空間創出事業 10,000

安心・安全な歩行空間の創出に向け、地元住民や関係機関と情報共有を図りながら、28年度に実施した社会実験の結果等を踏まえ、歩行環境改善に向けた取組を進める。

全体事業費 141百万円（政策枠10百万円、政策枠以外131百万円）

[都市計画局 歩くまち京都推進室 TEL 222-3483]

[建設局 建設企画課 TEL 222-3551]

◆駅等のバリアフリー化の推進 205,900

「「歩くまち・京都」交通バリアフリー全体構想」に掲げる重点整備地区のバリアフリー化を推進する。

(新規) JR西日本：西大路駅

(継続) 京 福：西院駅

阪 急：西院駅

全体事業費 207百万円（政策枠206百万円、政策枠以外1百万円）

[都市計画局 歩くまち京都推進室 TEL 222-3483]

◆パークアンドライド利用の促進 6,000

E T C 2. 0データなど最新のデータ分析によるドライバーの動向を踏まえ、市内へのクルマの流入抑制に効果的な位置にあるパークアンドライド駐車場を選定するとともに、出発地から当該駐車場に至るまでの連続した広報の充実により、一層の誘導強化を行う。また、民間事業者等が実施する駐車料金割引などのインセンティブについて積極的に広報することにより、効果的な利用促進を図る。

全体事業費 10百万円（政策枠6百万円、政策枠以外4百万円）

[都市計画局 歩くまち京都推進室 TEL 222-3483]

(① 日本の“こころの創生”を牽引する「世界の文化首都・京都」の実現)

[単位：千円]

◆市内周辺部における生活交通の維持・確保に係る民間バス事業者への支援

65,000

「歩くまち・京都」, 「公共交通優先のまちづくり」の更なる進展に向け, 市内周辺部における市民生活の足の役割を担う民間バス事業者のバス待ち環境の整備に対する支援を行うほか, 民間バス事業者による路線・ダイヤに関する社会実験への支援を検討する。

[都市計画局 歩くまち京都推進室 TEL 222-3483]

【局配分枠等における主な新規・充実事業(都市計画局)】

[充実事業]

◇景観形成推進事業 全体事業費 11,302(うち充実分 3,000)

◇「歩くまち・京都」総合交通戦略の推進
全体事業費 450,246(うち充実分 4,100)

<建設局>

28 宝が池公園森林環境保全再生事業 6,000

「豊かな森を育てる府民税交付金」を活用し, 宝が池公園内の森林において, 産学官民連携により, 荒廃した植生の択伐を行い, 伐採樹木をリサイクル化する。また, 喫緊の課題であるシカ害対策を行った上で, 市内産の地域固有種樹木などを植栽し, 森林環境を保全再生する。

[建設局 みどり政策推進室 TEL 741-8600]

<教育委員会>

29 銅駝美術工芸高校移転整備事業 53,200

京都市立芸術大学の崇仁地域への移転整備に伴い, 芸術大学との連携により, 一層充実した芸術教育を実施するため, 学校施設の狭隘さや老朽化などの課題もある銅駝美術工芸高校を移転整備する。29年度は設計に着手する。

[教育委員会事務局 教育環境整備室 TEL 222-3796]

[教育委員会事務局 学校指導課 TEL 222-3811]

(① 日本の“こころの創生”を牽引する「世界の文化首都・京都」の実現)

[単位：千円]

30 文化庁移転に向けた学校教育・生涯学習事業における文化芸術事業の振興

5,500

文化庁の京都への全面的移転に向け、和食、和装、茶道、雅楽、能楽などの京都の伝統文化・文化芸術に触れる機会を充実し、京都ならではの伝統文化教育を推進する。

また、生涯学習の分野においても、生涯学習総合センターの「古典の日記念 京都市平安京創生館」の多言語対応や展示充実など、より質の高い生涯学習事業を展開するとともに、NPO法人障害者芸術推進研究機構（天才アートKYOTO）と協働し、障害のある方の文化芸術活動を推進する。

全体事業費 86百万円（政策枠5百万円，政策枠以外80百万円）

[教育委員会事務局 学校指導課 TEL 222-3808]

[教育委員会事務局 総合育成支援課 TEL 352-2285]

[教育委員会事務局 生涯学習部 TEL 801-8822]

31 国際博物館会議（ICOM）京都大会開催に向けたイベントの開催

2,000

31年度の国際博物館会議（ICOM）京都大会開催に向け、イベントとして大会の周知を兼ねた講演会を開催することなどにより、京都大会開催に向けた機運を高め、市内博物館を中心とした京都全体の文化芸術の活性化を図る。

全体事業費 5百万円（政策枠2百万円，政策枠以外3百万円）

[教育委員会事務局 生涯学習部 TEL 251-0420]